

日本病理学会近畿支部会の先生方

いつも大変お世話になりまして感謝申し上げます。

第 69 回関西小児病理研究会のプログラムを送らせて頂きます。紙の抄録は当日会場にて配布させていただきます。

今回は、大阪府立母子保健総合医療センター検査科病理の中山雅弘先生に特別記念講演を行って頂きますので、ぜひご参加下さい。

また 17 時 30 分からリバーサイドホテルにてささやかながら中山先生の御定年をお祝いする会を開かせて頂きます。お祝いの会にご参加頂けます先生は、兵庫県立こども病院病理診断科の吉田のメール [mkyoshida\\_kch@hp.pref.hyogo.jp](mailto:mkyoshida_kch@hp.pref.hyogo.jp) までご連絡頂きたく、お願い申し上げます。参加申し込みの締め切りは 6 月 20 日（木）の正午までとさせていただきますが、当日に急な参加も可能です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

第 69 回関西小児病理研究会担当  
兵庫県立こども病院 病理診断科  
吉田牧子

# 第 69 回関西小児病理研究会

日時：平成 24 年 6 月 22 日（土）午後 1 時 30 分より標本供覧  
午後 2 時 00 分より講演開始

日本病理学会から専門医資格更新時の生涯学習単位（参加 5 単位、筆頭発表 2 単位）  
として認められています

場所：大阪市立総合医療センター3階 大会議室  
（注：大会議室が3階に変更になっております。院内の案内に沿ってお進み下さい）  
〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22  
電話（06）6929-1221（代表）

交通案内：地下鉄谷町線都島駅下車②番出口より西へ約 3 分  
JR 環状線桜ノ宮駅下車北へ約 7 分

## 会場周辺図



プログラム

14：00～15：00 座長：大阪市立大学医学部附属病院 病理部 桑江 優子先生

1(445) 第3脳室内腫瘍の1例

兵庫県立こども病院 病理診断科 吉田 牧子、他

2(446) cytokeratin 陽性を示す骨腫瘍の1例

大阪市立総合医療センター 病理部 奥野 高裕、他

3(447) 後頭部腫瘍の1例

大阪市立総合医療センター 病理部 福島 裕子、他

15：00～15：20 休憩

15：20～16：00 座長：大阪府立母子保健総合医療センター検査科病理 竹内 真先生

4(448) 糖原病4型の1例

母子保健総合医療センター検査科病理 松岡 圭子、他

5(449) 遺伝性多発嚢胞腎、新生児糖尿病を呈した超低出生体重児の一剖検例

京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学 伊東 恭子、他

16：00～16：15 休憩

16：15～17：00 座長：大阪市立総合医療センター 病理部 井上 健先生

特別記念講演：

子宮内で形成される“先天異常”疾患

--特に肺の子宮内獲得性病変について--

大阪府立母子保健総合医療センター検査科 中山雅弘

データはWindows, MacともにPowerPointファイルで、USBフラッシュメモリまたはCD-ROMで御持参下さい。口演時間は討論含めて1題あたり20分をお願い致します。

17：30～「中山先生の御定年をお祝いする会」 リバーサイドホテル

大阪府立母子保健総合医療センターの中山雅弘先生の関西小児病理研究会におけるご功績に対する感謝の会を、ささやかですが行わせて頂きます。参加費は5000円です。

特別記念講演：

子宮内で形成される“先天異常”疾患

--特に肺の子宮内獲得性病変について--

大阪府立母子保健総合医療センター検査科 中山雅弘

ウイルスなどの先天感染症が、先天異常を起こすことは、風疹による心奇形やトキソプラズマによる水頭症など多くのものが知られている。より一般的な子宮内感染症（絨毛膜様膜炎）が肺の異形成を生じることが余り知られていない。又、放射線などの物理的因子が中枢神経異常や生殖器異常などを生じることがよく知られているが、羊水異常などの力学的障害や胎児自身の血行障害などが先天異常を生じることが十分には理解されていない。それらにつき症例を呈示しそのメカニズムを考察する。

胎内での腸重積により腸閉鎖が起こる。回腸末端部の先天性腸閉鎖はほとんどがこれによるものである。胎児や未熟児の剖検で睾丸の片側性の出血性壊死にときに遭遇する。一方、小児期で片側性の睾丸欠損症もそれほど稀なものではない。片側性の睾丸欠損症の原因は胎児期の出血性壊死であると考えられる。

両側性の低形成肺の成因として、第一は Potter 症候群として知られている羊水減少にともなう肺の低形成である。Potter sequence では、腎臓に奇形がなくとも、羊水の異常により、顔貌の異常、内反足、肺低形成なども来す。もうひとつは肺の呼吸様運動の欠如あるいは胸郭の形成異常・胸水貯留により起こるものである。肺の呼吸様運動が障害された結果として起こる肺の低形成については、Wigglesworth らがウサギで呼吸中枢を破壊し胎内の呼吸様運動を抑制することにより低形成肺のモデルを作成している。

Wilson-Mikity 症候群 (WMS) は 1960 年に報告された特徴的な胸部 X 線像を示す低出生体重児の慢性呼吸障害で、無気肺と肺気腫が混在し、弾性線維の変性・断片化が見られる特異な疾患である。胎盤所見は特徴的で強い亜急性絨毛膜羊膜炎が認められる。特に、臍帯血管周囲の石灰化を呈する亜急性壊死性臍帯炎 (subacute necrotizing funisitis) が認められれば、より高頻度に WMS が発生する。